



『天日干しされる中津和傘』川嵐 照代 画

理 念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

新年のごあいさつ

社会医療法人 玄真堂 川崙整形外科病院

院長 川崙 眞之



新年、明けましておめでとうございます。平素よりご支援・ご高配をいただき誠にありがとうございます。おかげ様で当法人は令和3年3月5日をもちまして40周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様方のご支援とご指導の賜物と深謝申し上げます。

患者や施設入所の皆様、ご家族様におかれましては面会制限もあり、不安の募る中、多くのストレスを抱えた日々を過ごされたのではないかと思います。幸い中津市近辺では今までのところ大規模な感染の広がりはありませんが、全国の救急病院における新型コロナウイルス発生報道がされる中、発熱のある救急患者の対応には職員も通常以上の緊張を強いられ、神経をすり減らす思いをしました。ここにきて漸くワクチン接種も視野に入る状況になってきましたので、通常の診療体制に戻るよう今後の新型コロナウイルス対策が順調に進むことを祈念したいと思います。

さて、昨年はおかげさまで回復期病棟をスタートすることができました。コロナ禍真つ只中の前途多難な船出となつてしまいましたが、田村センター長が舵取りをお引き受けくださり、現在、着実に歩みを進めています。この回復期病棟の完成により、急性期から在宅まで地域完結型の医療・介護を提供できる体制がようやく整いました。今後は近隣の医療機関・介護施設の皆様とより一層連携を深め、職員一丸となつて地域医療の維持・発展に貢献していきたいと思っております。

また昨年7月に中津にて開催を予定しながら、コロナ禍のため延期となつた第21回九州高気圧環境医学会ですが、本年7月に開催を
昨年、中止となつてしまつた分、学会テーマ「捲土重来」の如く充実した集会となるよう、改めて準備を進めていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

冬に備えて 新型コロナウイルス感染症の予防

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人



昨年12月8日、当院の介護

ケアセンターのデザイナーサービス「ひだまり」で高齢者向けの健康長寿教室を開催した。今回は『冬に備えて新型コロナウイルス感染症の予防』というテーマでお話をする機会を得た。世界中に広がるコロナウイルスは感染者数約6,700万人、死者数約153万人と途方もないパンデミックとなつて広がり、トランプ大統領率いる米国では感染者数1,323万人、死者数30万人にもなるというところもない事が起こっている。それに比較すると日本の感染者数は約16万人、死者数2,

315人と少ないながらも、PCR検査や検査の普及の遅れなどもあつて第1波の感染から様々の予算や施設、設備が必要なのにもかかわらず準備されていない。大分県においても感染者数397人、死亡者数3人、そして人口10万人当たりの感染者発生数は全国14位となつており、私たちの身近にもひたひたとこのコロナウイルス感染症が大きな問題となつてきている。感染者数が最も少ないといわれていた大分ですらこの調子である。このような状況になつてきたので患者さんや業者の皆さんに、このコロナウイルス感染症に対する予防対策やワクチン開発の状況などについてお話をすすめる事になった。



眞野喜洋名誉教授と(2013年、日本高気圧環境・潜水医学会にて)

最初にこの新型コロナウイルス感染症がなぜ起こったのかというと第一に、3密という閉鎖空間における人と人の接触が一番大きな問題で、特に会食時の感染が多発している事が分かり、『必ず3密を避け換気を十分にする』そして『食事をする時以外の会話ををする時は再びマスクをする』という「マスク会食」が推奨されている。次に1・5メートル以上のソーシャルディスタンスを取り、対面を避け、同一方向を向いて座る。

もし対面で座る場合は透明の亚克力板や、プラスチック板をパーティションとして立てる事が推奨されている。またマスクは外出する時は必ず着用する事が基本的に大事である。

ほかにも予防するための色々な方法が考案されている。その一つが東京医科歯科大学の故眞野喜洋名誉教授が15年前に開発したオゾンナノバブルで、口腔洗浄や創部洗浄、骨髄炎の局所持続洗浄にも応用し、大変良好な殺菌力にもかかわらず、全く毒性がなく副作用がないという事が立証出来ている。故眞野喜洋名誉教授の後は東大の大平猛教授を中心としてオゾンナノバブル学会が出来、毎年、日本のトップレベルの医師や科学者がこのオゾンナノバブルについて先端的な会合を持たれている。既に水産業においては広島や東北の牡蠣のノロ



2016年 第5回マイクロナ・ノバブル学会主催

ウイルスの殺菌、仙台の笹かまぼこの食中毒予防など、魚市場では魚の食中毒予防にも利用されている。また温泉などの浴場でレジオネラ感染症が広がるという問題が起こった時にも、このオゾンナノバブルで殺菌しているという演題も発表され、大変有効な結果を得ている。このオゾンナノバブルが新型コロナウイルスに有効ではないかと検討されていたが、昨年の5月、奈良県立医科大学がオゾンナノバブル研究所のオゾンナノバ

ブル水をコロナウイルスの培養液に使用したところ、99.8%のウイルス減少を確認する事が出来た。コロナウイルスが舌や口腔内に5倍〜10倍近く分布している事から、予防用がい薬として使用される事が予想される。その後、東北大学、藤田医科大学でも同様の研究が発表されている。

既に新聞報道されているように米国のファイザー社でワクチンが開発されており、有効率が90%を超えるといわ

れ、今年度中に最大13億回分が供給されるだろうといわれている。そのうちの6,000万回分が6月までに日本へ供給されるという事で、大変心強い発表があった。ただし保存温度がマイナス60度〜80度の上に、保存期間が最大半年しか出来ない事がネックとなっている。このため輸送力や冷凍庫などのインフラが普及すれば活用されるだろう。

同様に日本の武田製薬と提携しているモデルナ社が94.5%有効であるというワクチンを開発している。これは今年、5億回〜10億回分製造され、そのうち日本には6月までに2,500万回分が供給されるという発表があった。こちらの保存温度はマイナス20度で最大保存期間は半年なので、この程度なら常温でも30日は保存が出来ることになり、このワクチンが副作用もないということ普及すれば



大変にありがたい。

そのほかにもアストラゼネカ社などで新しいタイプの抗体ワクチンが出来ている。かつてはインフルエンザの抗体ワクチンは約5カ月しか持たず、今回の新型コロナウイルスの有効期間や有効率が疑問視されていたが、横浜市立大学の山中竹春教授の発表によると、日本人の新型コロナウイルス感染者で回復した人の半年後、98%が中和抗体を持つことが分

かった。したがってワクチンの持続性にかなり希望が持てる事になる。このように一歩一歩コロナの征服に近付いており、既に昨年12月から、英国政府は米国からのワクチン供給を開始している。

かつて、人類は天然痘やコレラ、スペイン風邪、サーズ、マーズなど様々なパンデミックを経験したが、今日のような技術がなくてもそれが延々と続いた事はなく、人類は必ず克服してきた。今日のように優れた高度な技術力と開発力で必ずや克服される感染症であると確信している。希望を持って予防に努め、様々な食品によって自然免疫力を高め、自分たちの生活を発展的に前向きに生きるように患者さんや職員にお話をする事が出来た。

西日本整形・災害外科学会 in 別府

かわしまクリニク所長 永芳 郁文

こんな環境をだれが予測し得たでしょうか。流れてくるのは寝ても覚めてもコロナのニュース。未曾有の出来事に対する混乱が続く中、それでも仕事や生活を立て直そうと、3密を避けての活動やテレワーク、リモートといった「新しい生活様式」が推奨される時代となりました。

医学会も例外ではなく、ほとんどの学会や研究会が中止となり、2020年11月14日、15日に予定されていた第140回西日本整形外科学会もまた開催が危ぶまれる事態となっていました。今年度は大分大学の主幹による別府市での開催…。

発表演題1つと、座長を仰せつかった小生にとりまして、も、できれば中止だけは避けられれば…。」と思い願う日々を過ごした気がします。慎重な現状分析に基づいた最終決定が下されたのはわずか2週間前のこと。当日は3密回避での会場設営の下、手指消毒、検温など厳重な対策が取られ、過去に例を見ない開催準備となりました。

西日本地域から急遽、駆け付けられた参加者は数百名。想定を超える参加人数でしたが、天候にも恵まれ、盛況のうちに幕を閉じることができたようです。

帰りの車窓、紅葉に色付いた鶴見岳を眺めつつ、ふと思う事がありました。

『情報は学会に出て来なくても得られるのに、なぜこんな時期にも関わらず参加者が減らなかつたのか？』

『自粛』と『巣籠り』、そしてコロナ禍に対する『新しい生活様式』を前にして、見つけ出した答えは意外とシンプルでした。

『人に会いたいから』

それは、人と人との、顔を見て直接会話することの大切さと言い換えることもできます。

メールやSNSなどで要件だけを済ますことに慣れ、そこに疑問すら持つこともなく過ごしてきた日常…。自己満足的な情報発信と最新情報の獲得のみに追われて見失ってきたもの…：それは、相手の顔を見て話す時の何となくほっとできる不思議

さであり、同時に「人どうしが関わりあいの中で生かされている事への気付きと感謝」と表現することもできるでしょう。

『こんな時に、あえて人に会うために出てくるのは、そこにほっとしたい自分がいるから』
殺伐としたコロナ禍の中だからこそ『おかげさま』と生かされて『ありがとう』を忘れずに丁寧生きていく…。そんな姿を実感してほっとしたいということでしょう。

車窓を通り過ぎる晩秋の田舎風景を眺めつつ、ふと思いついた。『おのおの十余国の国境を越えて、身命をかへりみずして、訪ね来たらしめ給うおこころざし…』

ある古典からの一文です。『ホントウを知りたくて命をかけて、遠く関東から、乱世の時代の国境をいくつも越えて、はるばる京都にまで訪ねて来られた人々のお気持ち…』

という意味です。いつの時代も困難や苦悩があり、しかしいつの時代でも、命すら掛けて、人と人の関わりあいが大切にされてきたという歴史上の事実を、その存在の蓄積を、改めて感じ入る別府紀行となりました。

健康教室



デイサービスひだまり

中西 文恵

11月21日（土）、当院川島理事長による『新型コロナウイルス感染症に負けない免疫力アップ 自然免疫強化とは』をテーマに、健康教室が開催されました。

今年度の健康教室は新型コロナウイルス感染症拡大対策により、開催回数を大幅に減らし、この度の開催も3カ月振りとなりました。今もなお、増え続ける新型コロナウイルス感染症に打ち勝つ為に、川島理事長より非常に重要な対策が含まれた内容となりました。一番新しい情報と共に、特に、腸内の免疫力アップに繋がる食品については詳しく、そして大変分かり易く説明して下さいました。私たちの生活の中で身近な食材も多く、直ぐに

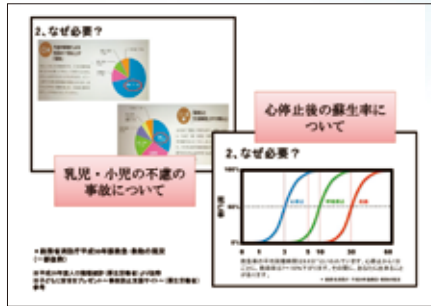


実践できる内容ばかりだったと思います。参加者の皆さんはメモを取ったり、講演後には質問をされたりと、大変熱心に聞かれています。参加者の方から、「大変勉強になりました。コロナに負けないよう、免疫力をアップする食品を積極的に摂りたいです」との感想も聞かれました。今回の開催にあたり、全参加者マスク着用の徹底、入り口での検温、手指消毒実施、ソーシャルディスタンスを保った配席、会場参加人数制限を設けるといった対策を皆様のご協力、ご理解も得て実施させて頂き、開催することが出来ました事をこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

来年は、新型コロナウイルス感染症が収束に向かう事を願ひ、そしてまた地域の多くの皆様のお役にたてる健康教室を沢山開催出来る事を願ひたいと思います。

2020年 大分県病院学会オンライン学会に参加して

外来看護師 小倉 絵利子



今回大分県病院学会で『院内託児所の保育士に向けた救急演習の取り組み』について発表させて頂きました。私は2016年より当院託児所の救急演習(BLS:一次救命処置)を行っており、毎年、乳児・小児の胸骨圧迫や人工呼吸(換気)の方法、AEDの使用方法について講義・集団指導を行ってきました。

今回の取り組みでは、更に効果的な演習となるよう、小集団指導と実技演習を取り入れ行いました。講義では資料を使用し、BLSの重要性を説明、演習は2~3人毎に1人の指導者を配置し、BLS演習を行い、小集団ならではのコミュニケーションが取りやすい環境作りを行いました。

更に、保育中に発生する急変時の初期対応についても演習を行い、先生方の不安が軽減され、「役に立った」「非常にわかりやすかった」という声も聞かれ、効果的な演習となりました。

2020年1月頃から新型コロナウイルスが世界的に広がり、コロナ禍で予定していた研修会や学会は

第31回管理職研修を終えて...

実行委員長 老健なのみ主任 末廣 康江

当法人は急性期の整形外科病院を中心に中津市に根差し、地域のニーズに応じた医療・介護事業を展開、2020年は回復期病棟を開設し、急性期から在宅まで一貫した「社会医療法人玄真堂」となりました。その中で来年度には40周年を迎える節目の年となります。

そこで地域の皆様から愛される玄真堂となるよう、更に質の高い医療看護、介護を提供できるような内部環境を整えたいと思いました。1990年より開始し、毎年管理職を対象に「管理職の育成と質の向上」を目的に研修会を行い、今年で31回目となります。法人の歴史を振り返り

次々と中止になっている中、今回オンライン学会へ変更となり、準備では初めての録音作業に苦戦しましたが、完成させることができました。

オンライン学会ではそれぞれの場所で、各々が視聴し学びを共有する事ができ、これも今までにない経験となりました。

この貴重な経験をさせて頂いた事に感謝し、これからも自己研鑽していきたいと思えます。

振り返り、今後の玄真堂のあるべき姿を目指し、改めて「管理職としての役割」を考え、任務を果たし行動できるように、玄真堂の『これまで』と『これから』のテーマで研修会を開催しました。

研修前に各自へ「管理職のあるべき姿」を考える職務の確認を行い、午前中には川寫真人理事長より『創業精神(これまで)』、川寫眞之副理事長(病院長)より『未来に向かっている思い(これから)』の講演がありました。午後からは管理職としてどう行動するか具体的にグループワークを行いました。

今回職制ごとにグループ編成し、職種は違いますが同じ立場に立つて考え話し合うことができたと思えます。日頃見ることのない規程・組織図を確認する良い機会にもなりました。

講演の内容から理事長の優しさ・情熱・温かさを改めて感じることができ、その思いは副理事長に受け継がれているなど感じ感動致しました。副理事長の話の中には「ワクワク感のある職場づくり」についての考えが伝わり、未来に明るさを感じました。グループ発表もそれぞれ

が振り返り、前向きに考え行動しようとする姿勢が表れており、この研修内容から管理職が職制ごとに同じスタートラインに立つことができ良かったと思います。ワクワク楽しく働ける職場になれるよう各自が本を読み、哲学を理解し、管理者として部下や職員へ働くことの楽しさや努力を理解できるように伝え、育成に努めていきたいと思えます。頑張ります!!





ポリフェノールと健康



麻酔科部長
原西 保典

植物に含まれているポリフェノールには抗酸化作用があります。脂っこい食事を好む欧米人の中で、赤ワインを常飲しているグループの心疾患による死亡率が低いという報告が過去にありました。これは赤ワインに含まれるアントシアニンというポリフェノールの働きによるものではないかというところで、ポリフェノールが一躍注目されるきっかけともなった報告です。ポリフェノールは現在のとこ

茶のカテキン、ココアのカオポリフェノール、コーヒーのクロロゲン酸などがある有名です。ポリフェノールはがんや糖尿病の発症を抑制する他に、動脈硬化の予防効果があるため、心疾患や脳卒中といった血管障害性疾患のリスクを低減すると考えられます。以前にクロロゲン酸の鎮痛効果をラットで調べたことがありました。痛くて歩けなかったラットが、クロロゲン酸を投与すると普通に動き回る姿を見てビックリしたことを覚えています。コーヒーが医薬品として使用されていたことも納得です。ところが悲しいかな、ヒトはコーヒーを飲みすぎると胃がびっくりしてしまふ。そうそう上手くはいきませ

★憧れのななつ星に魅せられて★

介護老人保健施設のみ 田畑 京子

皆さんは、JR九州の豪華列車「ななつ星」をご存知でしょうか？

当施設はJR九州の日豊本線が見える場所にあり、毎週火曜日、大分方面に向かう「ななつ星」を見る事ができます。週一回、ななつ星を見送る事が利用者様とスタッフの楽しい恒例行事となっています。

今回、JR九州の方の願いをし、当施設の前を通過する際に汽笛を鳴らしてもらえるようになりました。

いつものように窓辺に利用者様と手には旗を、窓にはメッセージを貼り、ななつ星が通るのをまだかまだかと待ち構えています。

遠くの方から汽笛が聞こえ、止まるくらいスピードでゆっくりゆっくりとななつ星が走ってきました。

ご利用者様もスタッフも一緒にになり、歓喜の声を上げ、力いっぱい旗を振りました。

ななつ星の窓を見ると、たくさんの人たちが、こちらに向かって手を振ってくれ、メッ



セージカードが動くのも見えました。その光景を見てご利用者様もスタッフも涙を流しながら皆で喜びました。たった1分ですが、JR九州



スタッフの方と、ななつ星の乗客の方の心温まるおもてなしのお陰で、最高に幸せな時間となり、私たちの中で忘れられない一生の思い出となりました。

コロナ禍で今までしていた当たり前の生活ができず、我慢の日々が続いています。今後このような行事を考え、ご利用者様と共に喜びや幸せを見つけてながら、力を合わせて困難を乗り越えて行きたいと思えます。最後に、JR九州とななつ星のスタッフの皆さん、たくさん

「なのみクリスマス会」を開催しました♪

介護老人保健施設なのみ
介護福祉士 長谷川 進作

令和2年12月23日「クリスマス会」を笑って過ごそう!」をテーマに、なのみクリスマス会を開催しました。昼食はビーフシチューをメインに、中津名物からあげ・野菜サラダにフルーツと豪華なメニューを召し上がって頂きました。午後からは感染予防のため、換気と飛沫対策を十分実施し、ソーシャルディスタンスを保ちながら、徹底した環境体制の中行いました。初めに男性職員3人がリオ・サンバカーニバル顔負けの格好でサン



バを踊り、利用者様と「ジングルベル」を歌いながら身体も一緒に動かして会場中が笑いと熱気で包まれていました。

次に川島理事長をはじめとしたアンデスの会の皆様から、クリスマスの曲や本場ベルの曲を奏でて頂きました。後半、和の横笛でしっとりとした上品な音色に、賑やかだった雰囲気は心地よい静かな空気にへと変わりました。最後に今年の運だめし♪と福引き大会を行い、利用者様にクリスマスプレゼントを贈呈させて頂きました。「楽しかった



よ♪またやってね♪」と笑顔いっぱい利用者様やプレゼントを気に入ったのか「嬉しいっトを気に入ったのか「嬉しいっトを気に入ったのか「嬉しいっト」を抱きしめている利用者様を見て、私たち職員が感動や元氣を頂いた会となりました。これからも今回のように楽しんで頂けるよう頑張って参ります。

ひだまり 美容院 オープン!

ひだまり 中城 優美



デイサービスひだまりには美容師免許を持ち、前職でも美容師として活躍していた職員（介護福祉士）が在籍しています。その腕前を介護の現

場でも生かせないかと本人からの申し出もあり、希望者を対象にボランティア散髪を行いました。今回で2回目の開催となり、新型コロナウイルス感染症が不安で美容室に行けないご利用者、ご家族にも大変喜んで頂けました。見事なハサミさばぎとテンポ良いカット、抜群のセンスで、カット後のご利用者は皆様とつてもスッキリされ、「かつこいいですね!」「若くなった!」と周囲からも絶賛の声が響いていました。



接遇表彰

事務局 加藤 裕成

この度、『2020 おもてなし美人』として表彰を頂きました。とても嬉しいです！投票して下さった方々誠にありがとうございました。投票して下さった方に来年も投票して頂けるように気合を入れて接遇に励みます。



自宅でできる体操

通所リハビリテーション科 科長 島澤 真一

新型コロナウイルスの影響で、いつも以上に家にいる時間が長くなっています。長期間にわたる巣ごもり生活によって運動不足になっていませんか？自宅で過ごす時間が長くなることにより運動不足が引き起こされると、筋力の衰えに加え、体を支えるバランス能力が低下しやすくなります。反射や平衡を保つ能力が下がると、足元のちょっとした段差につまずいて転倒することもあります。そのためにも適度な運動を行うことが大事です。自宅で、道具や機器を使用しなくても簡単にできる運動として、椅子に腰かけた状態からの立ち座り、立った状態でかかとの上げ下げ（つま先立ち）、階段等の段差を使用した段差昇降などがあります。運動を行うに当たっては、痛み等の出ないように、最初



は無理をせず、楽になったら回数を増やしましょう。通所リハビリテーション科でも自分たちで作成した体操を利用者様に行っていたいています。また、大分県にて作成した、簡単にできる10種類

の体操で構成された、筋力アップ効果の高い介護予防体操「めじろん元氣アップ体操」も実施しています。は大分県のホームページに詳細がありますので参考にしてください。



大分県ホームページ
<https://www.pref.oita.jp/site/790/mejirontaisou.html>

2020.11.14～15

第140回西日本整形・災害外科学会学術集会 (別府)
「高気圧酸素治療とオゾンナノバブル水を用いた持続洗浄療法による化膿性骨髄炎の治療」

川島副理事長発表

「オゾンナノバブル水を用いた局所持続洗浄療法後の2期的再置換術の治療成績」

永芳クリニック施設長発表

「距骨下関節脱臼に対し、徒手整復後、4週間の距踵関節固定を行った2例」

濱田医師発表

2020.11.21

健康教室

「免疫力アップ」

川島理事長講演

院内勉強会

モーニングセミナー

2020.9.18

「ウイルスって何？」

渡邊医長

2020.10.18

「医療被曝」

後藤診療副部長

2020.11.20

「気道に関する話題」

原西麻酔科部長

カワシマハンドセラピィ研究会

2020.9.14

「変形性指関節症により表面置換型人工指関節を施行された一症例」

川端作業療法士

「PIP屈曲・伸展運動の説明」

奥貞作業療法士

2020.10.19

「動的装具を用いた手指伸展拘縮の2例」

岸本リハビリテーション部副主任

「DIP屈曲・伸展運動の説明」

永田作業療法士

2020.11.16

「母指MP関節の尺側不安定性に対する外固定法の一案」

辛嶋リハビリテーション部副主任

「tenodesis効果の説明」

安田作業療法士

院外発表・講演

2020.9.8

健康長寿講話

(中津)

「コロナ予防と免疫力アップ」

川島理事長講演

2020.9.15

大分大学医学部三年次生「運動器・皮膚コース」講義

(オンライン)

「整形外科の歴史-整形外科のパイオニアたち-」

川島理事長講演

2020.9.16

第33回日本臨床整形外科学会

(オンライン)

「観察による歩行時の膝関節lateral thrustの有無と膝関節側方加速度の検討」

辛嶋リハビリテーション部副主任発表

「橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術後の遺残橈側転位は術後成績に影響するか」

岸本リハビリテーション部副主任発表

「変形性股関節症患者の疼痛と歩行時の骨盤・大腿の加速度の関連性の検討～慣性センサを用いた計測～」

井原拓哉理学療法士発表

2020.10.5

健康長寿講話

(中津)

「コロナに負けない免疫力アップ第2弾」

川島理事長講演

2020.10.10

第32回マンダラゲの会

(中津)

「コロナウイルスの最新情報」

川島理事長講演

2020.10.24

臨床実習指導者講習会

(大分)

「臨床実習の到達目標と修了基準」

井原拓哉理学療法士発表

2020.10.29

中津市介護支援専門協会

中津市在宅医療・介護連携支援センター共催WEB研修会

「急性期・回復期・維持期のセラピストの役割について(急性期)」

杉木リハビリテーション部部長代理発表

「急性期・回復期・維持期のセラピストの役割について(回復期)」

齊藤リハビリテーション部主任発表

「急性期・回復期・維持期のセラピストの役割について(維持期)」

鳥澤通所リハビリテーション科科長発表

2020.11.6

第18回「ようこそ先輩」ふれあい授業

(中津)

「コロナウイルスと天然痘ウイルス-辛島正庵について-」

川島理事長講演

膝関節勉強会

- 2020.9.9
「膝関節の機能解剖と理学療法」
橋本直樹理学療法士
- 2020.10.14
「TKA後の伸展可動制限について 膝後内側部の軟部組織に着目して」
斉藤リハビリテーション部主任
- 2020.11.11
「半月板後根断裂と半月板の特性について」
植田理学療法士

看護部勉強会

- 2020.10.5
「医療看護必要度について」

川島肩をカタラウ会

- 2020.9.28
「肩関節の運動系機能障害」
釘宮理学療法士
- 2020.10.26
「腱板断裂と骨密度との関係」
植田理学療法士
- 2020.11.30
「肩甲上腕関節の機能解剖・バイオメカニクス」
谷理学療法士



医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

2020.9.1

架橋補強ACL修復術は術後2年において自家腱移植のACL再建に劣っていない前向き無作為化臨床試験の結果

本山副院長

2020.9.8

上腕骨近位端骨折の二次転位のリスク因子

古江副院長

2020.9.29

20歳以下の患者における初回人工股関節置換術

川島院長

2020.10.6

人工関節周囲感染に対する洗浄、デブリードマンの成否を予測する

渡邊医長

2020.10.13

大・広範囲肩腱板断裂に対する関節鏡視下修復術 最低5年間の追跡での部分修復術のみと比較した積極的な剥離による完全修復術

佐々木診療部長

2020.10.27

骨性マレットに対する保存療法と伸展ブロックピンニング（手術）の比較

後藤診療副部長

2020.11.24

骨折の無い股関節脱臼：修復後、牽引するか関節を動かすか

濱田医師

論文（共同含）・誌上発表

- 古江幸博・他：上腕二頭筋遠位腱断裂の1例。整形外科と災害外科: Vol69, No4, 5 - 8, 2020.
- 藤池彰・他：大菱形骨脱臼骨折の一例, 整形外科と災害外科: Vol69, No3 34 - 37, 2020.
- Masayuki Kawashima, et al: Treatment of Osteomyelitis by Hyperbaric Oxygen Therapy, Hyperbaric Oxygenation Therapy: Vol.28, No2, 67 - 80, 2020.
- 本山達男・他: 前十字靭帯損傷に対するKyuro装具を用いた保護的早期運動療法, The Journal of the Japanese Academy of Prosthetists and Orthotists: Vol28, No2, 85 - 89, 2020.
- Yasunori Haranishi, et al : Antihyperalgesic effects of intrathecal perospirone in a rat model of neuropathic pain, Pharmacology, Biochemistry and Behavior : 1 - 7, 2020.
- 奥村晃司: 股関節機能の評価 人工股関節全置換術後の理学療法 明日の臨床を変える Art & Science: 60-77, 2020.
- 川島真人: 研究会の思い出, 洋学史研究別冊 対外関係と医学・医療 片桐一男編: 246 - 248, 2020.

第38回 玄真堂友の会開催のお知らせ

テーマ 笑顔で健康作り ～コロナに負けるな!! 正しい知識と免疫力UP!～

健康の秘訣は笑顔にあり!

理事長 川島真人、病院長 川島真之による健康講演の他
恒例の参加型健康クイズ、ストレッチ体操、ミニ演奏会も開催します。
正しい知識と日々の心がけで無病息災を目指しましょう!



●開催日：2021年3月27日(土) 14:00~16:00

●場 所：川島整形外科病院1F 玄真堂ホール

●講演 講師：川島 真人 理事長

●講演 講師：川島 真之 院長

参加される際はマスク着用・手指消毒 など感染予防にご協力ください

新規友の会会員募集中!

友の会会員を随時募集中。入会頂くことで
様々な特典を受けられます。
詳しい内容はお近くの職員にお尋ねください。
パンフレットもございます。

会員特典

- ① 高気圧酸素自費治療 5%OFF
- ② アンチエイジングドック 5%OFF
- ③ 川島真人著書 20%OFF
- ④ 玄真堂情報誌「ラ・サンテ」配布 等

玄真堂友の会実行委員会

編集後記

新年あけましておめでとうございます。いつもラ・サンテ
をご一読頂きまして有難うございます。
新型コロナウイルス感染症の終息を願うと共に、本年も皆
様に見やすく、わかりやすい情報をお届けできるよう、委員
一同取り組んでまいります。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。
(H・E)

【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

[患者様の権利]

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報を保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

[患者様の責務]

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い